

市民会館跡地等活用に伴うエリア価値向上支援業務受託候補者選定 公募型プロポーザル 評価基準表

①客観的評価

評価項目	評価点	判断基準	得点化基準
業務実績	60	平成25年度以降(過去10年間)に受注し、かつ履行した実績数(最大6件)	実施要領(1)カに関する実績:1件につき10点 実施要領(1)カに当たる継続中の契約:1件につき8点 その他の基本計画等の業務に係る実績:1件につき5点
業務遂行能力	40	業務に関する資格の保有状況及び担当業務実績数	(1) 管理技術者の保有する資格及び業務実績 ア 次に記した資格のうち、1つ以上保有している場合は5点、2つ以上保有している場合は10点。 ・技術士(都市及び地方計画) ・認定都市プランナー (土地利用計画、景観、都市計画デザイン等) ・一級建築士 ・RCCM(造園または都市及び地方計画) ・RLA(ランドスケープアーキテクト) イ 業務実績(最大2件)について、 実施要領(1)カに関する実績:1件につき5点 実施要領(1)カに当たる継続中の契約:1件につき4点 その他の基本計画等の業務に係る実績:1件につき3点 (2) 主任技術者の保有する資格及び業務実績 (1)に準じて得点を付与する。
小計	100		

②企画提案書評価

評価項目	評価点	判断基準	得点化基準	
業務工程表	5	効率的かつ効果的に業務を推進することができる具体性、妥当性の高い工程となっている。		
企画提案書	理解度	10	市民会館跡地等活用計画を踏まえた提案か。業務内容や背景、課題などを理解している。	
	実施方針	5	対象地や周辺エリアにおける本市の取組状況を踏まえた実施方針になっているか。	極めて優れる 評価点×1.0
	効果的な推進	10	業務の工夫、配慮や専門的な視点から効果的な業務の推進が期待できる。	優れる 評価点×0.8
	具体性・実現性	5	具体的かつ実現可能な手法である。	相当 評価点×0.6
	公民連携による取組に向けた検討手法等の提案	15	基本構想及び基本計画の策定、基本設計までの検討手法やプロセスの提案について、公民連携による取組に向けた提案がされているか。	やや劣る 評価点×0.4 劣る 評価点×0.2
	独自提案	5	仕様書に掲げる事項以外について、独自性の高い提案がされている。	不適格 評価点×0.0
プレゼンテーション及びヒアリング	5	表現力・取組意欲	要領を得た分かりやすい説明であり、質疑への応答は的確である。本業務への取組意欲が感じられる。	
小計	60			

③価格点

評価項目	評価点	判断基準	得点化基準
価格評価	100	参考見積書に記載の見積額を対象として、右に示す方法に基づき価格点を付与する。なお、見積額が上限額を超過している参加事業者は失格とする。	参加者のうち、価格が最も低額であるものを第1位とし、価格点の満点である100点を付与する。 その他の参加者の価格点は、第1位の見積金額(最低価格)と当該参加者の見積価格との比率により算出する。 価格点 = 100点 × (最低価格 / 見積価格) ※小数第1位まで求める(小数第2位を四捨五入)。
小計	100		

①客観的評価	100
②企画提案書評価(50点×5人)	300
③価格点	100
合計	500